

■安楽庵策伝 僧侶として最高位まで達し、仏教普及のため近世話芸を確立、「醒睡笑」をまとめて落語の創始者となった。

あんらくあんさくでん

・ ・ ・ ・ ・ 1554 = 美濃の土岐可頼(金森定近)の子で、後の飛騨高山城主金森長近が兄と言う名門に生まれ、

桶狭間の戦・1560 = 6歳 : 出家、

大村純忠受洗1563 = 9歳 :

川中島の戦終1564 = 10歳 : 上洛して、東山禅林寺甫叔上人に師事。

織田信長入京1568 = 14歳 :

三方原の戦・1572 = 18歳 : 曼陀羅を学び、

室町幕府滅亡1573 = 19歳 : 古田織部に茶道を習い、

上杉謙信没・1578 = 24歳 : 自立、

以降、芸備各地に7寺を興して、

パリニャノ謁見 1581 = 27歳 :

本能寺の変・1582 = 28歳 : 説教師として活動を始めて話芸を磨く。

秀吉全国統一1590 = 36歳 :

文禄の役・1592 = 38歳 : 堺正法寺に入山。この頃\*茶人・咄職として豊臣秀吉の寵を得、

ルツ島通交・1594 = 40歳 : 堺の正法寺の十三世として入山して茶人たちと親交、

26聖人殉教・1596 = 42歳 : 美濃国浄音寺25世をつぎ、

豊臣秀吉没・1598 = 44歳 :

前田利家没・1599 = 45歳 :

関ヶ原の戦・1600 = 46歳 :

家康駿府退隠1607 = 53歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1608 = 54歳 :

島津琉球支配1609 = 55歳 : 立政寺の住職に成りかかる。

支倉常長渡欧1613 = 59歳 : 京都誓願寺55世の法主となって、\*僧侶として最高位に達すると、

大坂冬の陣・1614 = 60歳 : 親交し始めた京都所司代板倉重宗から依頼されて、

大坂夏の陣・1615 = 61歳 : \*自作および蒐集した笑話を集め「醒睡笑」を起筆、

徳川家康没・1616 = 62歳 :

吉原遊郭始・1617 = 63歳 :

菱垣廻船始・1619 = 65歳 : 紫衣を勅許される。

徳川家光将軍1623 = 69歳 : 塔頭竹林院に安楽庵を結んで隠居し、「醒睡笑」の編著に力を入れ、

人身売買禁止1626 = 72歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1628 = 74歳 : \*「醒睡笑」を完成させて、板倉重宗に献呈した。

さらに、熱を入れていた椿について、

寛永禁書令・1630 = 76歳 : 「百椿集」を著し、

徳川秀忠没・1632 = 78歳 :

鎖国令始・1633 = 79歳 : この年以降、関白近衛信尋・鳥丸広光・小堀遠州・金地院崇伝・松花堂昭乗・松永貞徳・伊丹屋宗不らと風流の道を楽しむ。

参勤交代始・1635 = 81歳 :

初の高札・1642 = 88歳 : 没した。

関山和夫「安楽庵策伝和尚の生涯」、平凡社百科事典、日本の古典名著、